



ご自由にお持ち帰りください

ICHOU
-いちょう-
創刊!



- 新任医師紹介▶消化器内科部長 小林 健一
- 放置は危険!▶「便潜血陽性」今こそ大腸検査を
- 山下病院はまもなく125周年▶山下病院の歴史を振り返る
- 教えて先生▶便の状態で病気がわかる?

大腸検査のススメ

便潜血陽性 放置していませんか?

便潜血陽性は「念のため調べてほしい」という
体からのサイン。放置せずに検査を受けることで、
大腸がんを早期に見つけ、予防につなげることができます。何もなければそれで安心。
未来の自分のために精密検査を受けましょう。



こんな思い込みは危険

- 症状がないから大丈夫
- 痔による出血だと自己判断
- 大腸カメラはつらそう…
- 仕事や家庭が忙しく後回し

安心して受けられる山下病院の大腸検査のポイント

ポイント 1

消化器専門病院として 培った確かな実績

- 経験豊富な専門医が、大腸内視鏡検査、
ポリープ切除、ESD(内視鏡的粘膜下層
剥離術)など高度な治療に対応
- 消化器内科と消化器外科が密に連携し、
検査から外科的治療(手術)まで任せら
れる安心感

ポイント 2

苦痛を最小限に抑えた検査

- 負担の少ない大腸CTを日本で最初期
に導入
- 検査への不安が強い方、以前の検査で
つらかった方には鎮静剤の使用に対応
- 内視鏡検査は恥ずかしい…という不安
に対応し、女性医師による検査も可能



ポイント 3

大腸内視鏡・大腸CTの 年間検査数は約6,000件

2022年	2264件	3755件
2023年	2337件	3773件
2024年	2034件	3700件

● 大腸CT ● 大腸内視鏡

当院ホームページにて
大腸検査の詳しいご案内は
ご確認ください



受診案内

受付時間

初診の方
月曜日～土曜日
8:00～11:00

再診の方
月曜日～土曜日
8:00～11:30

休診日
土曜の午後
日祝日、年末年始

初診は予約不要です。
左記の受付時間内にお越しください。
紹介状がなくても受診いただけます。
(選定療養費はかかりません)

1日で完結



外来担当表

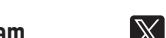
□ 枠内は予約制です

	診察時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
初診・紹介	9:00～12:00	山下	松崎	松崎	小林	杉山	交代制
		高野	高野／杉山 交代制	片山	高野	高野	
		服部	服部	服部	服部	服部	
再診・専門外来	9:00～12:00	鳥居	廣瀬	神原	鈴木	小倉／担当医 交代制	外科医師 交代制
		菊池	小林	山下 (IBD)	松崎 (IBD・ピロリ)	菊池	林 (肝炎)
		乾 (胆・脾)	泉 (腸内細菌)		福村 (糖尿病・内分泌)	乾 (胆・脾)	福村 (糖尿病・内分泌)
予約外来	診察室 3	13:30～14:30	杉山	服部	服部	服部	
	診察室 4	14:00	廣瀬 (大腸がん早期治療支援外来)				
		14:00～15:00 (第4水曜日のみ)			神原 (ストーマ外来)		
		15:00/15:30 (第4水曜日休診)	外科医師 交代制 (そけいヘルニア外来)				

山下病院公式SNSのご案内



公式SNSにて情報配信を行っています。
Instagramでは外来担当表を毎朝配信中!
ぜひフォローお願いします。



2025年10月
新規開設

より早い治療を望まれる方へ / 大腸がん早期治療支援外来

大腸がんと診断されてから治療開始までは、数週間から数ヶ月を要することもあり、「待っている間に進行するのでは?」と不安を抱える方も少なくありません。「1日も早く治療を受けたい…」そんな思いに応えるため、当院では初診から原則2週間以内に治療を開始する「大腸がん早期治療支援外来」を新たに開設しました。

消化器外科部長 廣瀬 友昭



初診から2週間以内の治療開始を目指します



この外来の対象となる方

- 大腸がんと組織診断され、早期治療をご希望の方

ご予約・受診方法

大腸がん早期治療支援外来は、月曜日～金曜日午後の予約制です
大腸がんと診断を受けた医療機関を通じてご予約ください
(患者さまからの直接のご予約は承っておりません)

詳細は当院
ホームページより
ご確認ください



新任医師紹介

消化器内科部長 小林 健一



ご挨拶

これまでの経験を活かし、できるだけ負担の少ない検査と丁寧な説明をこころがけています。胃や腸のちょっとした不調から専門的な治療まで、安心してご相談いただけるよう努めてまいります。地域のみなさまのお役に立てるよう尽力いたしますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

【資格など】

- 医学博士 ■ 日本内科学会認定内科医 ■ 日本内科学会総合内科専門医
- 日本消化器病学会消化器病専門医・指導医
- 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・指導医
- 日本肝臓学会認定肝臓専門医 ■ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

消化器専門医が解説

消化器の「ちょっと気になる」
症状について
患者さんからの質問に
お答えします

教えて先生

便の変化と考えられる病気

- 黒色便…消化管出血（胃潰瘍・がん）
- 赤い血便…痔・大腸がん
- 細い便…大腸がん・腸の狭窄
- 白っぽい便…胆管閉塞
- 脂っぽい便…脾臓や胆道の異常



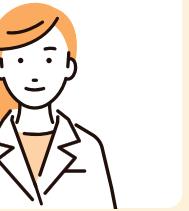
Q 便の状態で病気かわかる？

A 体の不調や消化管の病気の推測は可能です

- 黒っぽいタールのような便
- 便が細くなった
- 赤い血がついている
- 水のような下痢が続く
- 油っぽくて悪臭が強い

便は健康のバロメーター

- ・ 便の状態は体からのサインですが、病気かを確定するのは検査です
- ・ 急な便の変化や出血、体重減少をともなう場合はすぐに受診を！
- ・ 自己判断せず、気になる便が続いたら早めに受診しましょう



125th
since 1901

山下病院はまもなく創立125周年

— みなさんと歩んできた歴史を振り返ります —

第1回 山下病院のはじまり

1901
明治34年

明治

山下病院創立

濃尾大地震に見舞われ、西洋医学の必要性を痛感した地域住民の要請で、内科、外科、婦人科を診療科目とする20床の尾張地方唯一の病院として山下病院は設立されました。



創立時の山下病院と初代院長山下隆



大きな被害を受けた濃尾大地震



当時の山下病院の医療スタッフ

1945
昭和20年

大正

一宮大空襲

一宮市北部に焼夷弾が落とされ、市街は火の海になりました。
罹災者は4万人余り。
市内の医療機関は市民病院をはじめ全部焼かれ、山下病院に多くの負傷者が運ばれ、不眠不休で治療にあたりました。



空襲後の一宮市街地

1952
昭和27年

昭和初期～中期

病院改築

戦後アメリカ医学の導入により急速に進歩した近代医学にみあう施設が必要になり病院改築が行われ、各室に温水暖房を配置した診療棟が完成。



昭和27年当時の管理棟全景